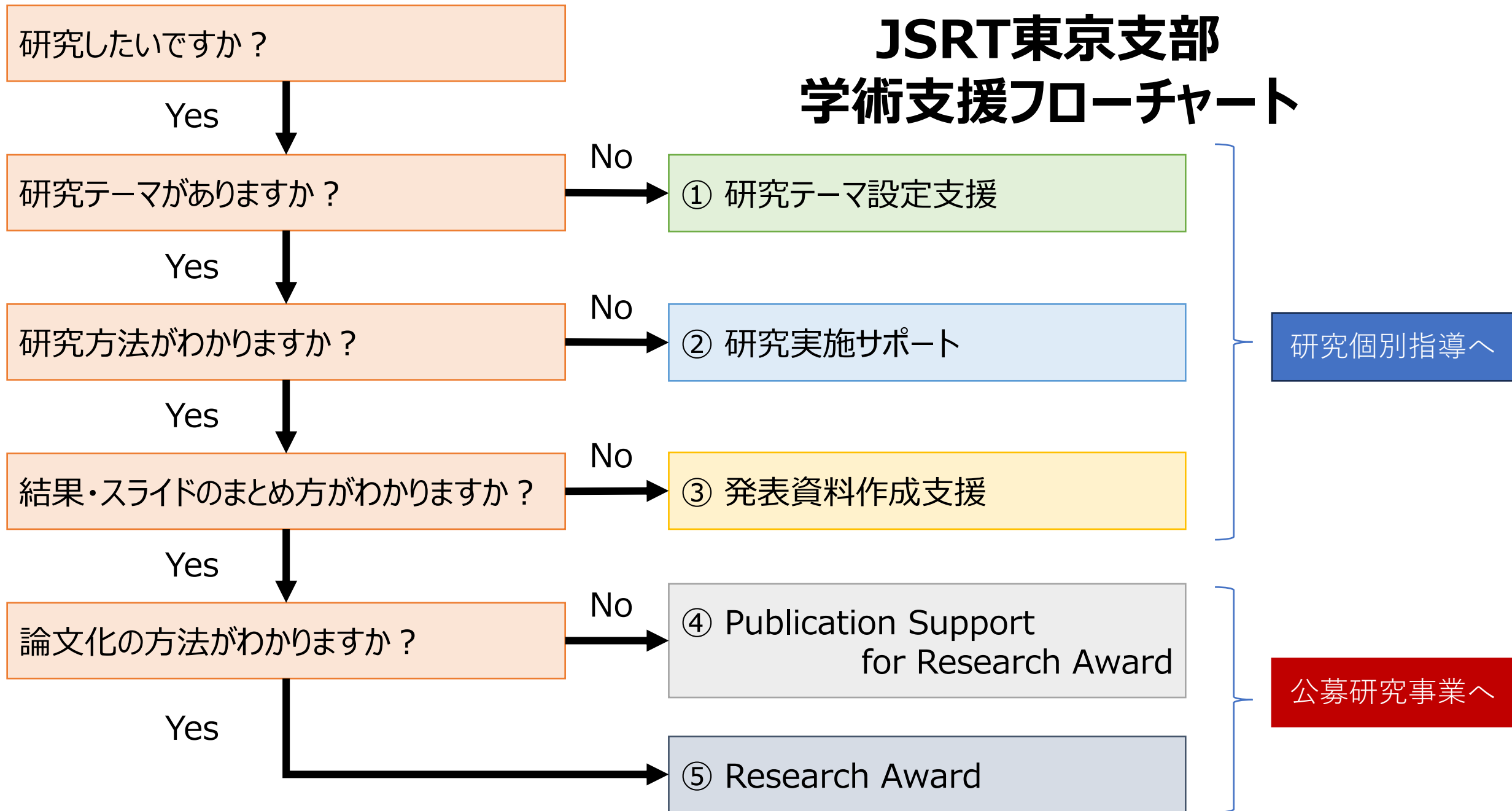


JSRT東京支部 学術支援フローチャート



JSRT東京支部：研究個別指導事業

① 研究テーマ設定支援

- 「テーマが決まらない…」という方向け
- 関心や目的に応じた研究テーマの設定をサポート
- 関連分野の動向を踏まえてアドバイス
- ▶ 自分に合ったテーマを見つけられる
- ▶ 無理のない研究計画を立てられる

② 研究実施サポート

- 実験、データ解析、倫理申請など、研究の実施段階での相談に対応
- 解析ソフトの提案や統計解析など、技術面での支援も実施
- ▶ 実験実施上の不安や課題を解決できる
- ▶ 質の高い研究が目指せる

③ 発表資料作成支援

- 学会発表用のスライド、ポスター、原稿などの作成をアドバイス
- 内容の整理や視覚的な工夫、発表練習の支援も可能
- ▶ 発表内容に自信が持てる
- ▶ 研究成果を的確に伝えられる

 すべての支援は、各領域の専門家とのZoomミーティングを通じて個別に実施

 お申込みには、所定の申請書をご提出ください

JSRT東京支部：公募研究事業

Publication Support for Research Award



JSRT学術大会で発表された
一般演題の論文化をサポート

特徴

- 応募分野が専門の学術委員が論文化をサポートします。
- 大会で使用したスライド等でエントリーするので簡便です。
- 論文化は必須ではなくアドバイスを聞くだけでもOK。
- 論文化達成の場合は**英文校正費用を全額補助**します
※和文誌への投稿の場合、費用の援助はありません

Research Award

支部春期大会で**成果報告(必須)**



研究の論文化(任意)

特徴

- 成果報告に対して**表彰楯を授与** (デザインが好評)
- 期日を設定しているため、計画的に作業が進む。
※実績：9研究のうち**4研究が論文化**
(2025年8月時点)
- 期日までの論文化を達成した場合、**副賞10万円**が授与されます!!

④ Publication Support for Research Awardの仕組みについて

● 応募期間：随時

● 採択通知：8月初旬

※応募資格：JSRT学術大会で一般研究発表を行った演題

● 論文化のサポート：

応募分野を専門とする学術支援委員から発表で使ったスライドをベースに論文化のためのアドバイスをを行います。

- 研究発表を論文につなげるためにどのような事が必要か？アドバイスを聞くだけでも構いません。
- 新規性のアピール，先行研究との比較方法，研究デザインの改善点，データのまとめ方，考察のブラッシュアップ等について，具体的にアドバイスします。
- 次回の研究発表に活かすか，アドバイスをもとに論文化を目指すかは自由です。

● 論文投稿：RPT誌への投稿を推奨していますが，それ以外の雑誌でも構いません。

英語論文に投稿し採択された場合は，英文校正費用を東京支部で支援します。

※英文校正費用の負担は，研究を「論文の形」にするという難関を超えるための支援として企画しています。

RPT誌への投稿では10万円までの全額を補助します。その他の雑誌では実費負担の半額を上限として補助します。

⑤ Research Awardの仕組みについて

- 応募期間：2月1日～4月1日
 - 採択通知：4月中旬
 - 成果報告（**義務**）：JSRT東京支部春期学術大会の公募研究セッションにて研究成果の報告を行う。同時に、Research Award表彰楯の授与式を行う（5月中旬）
 - 初回論文投稿（**任意**）：日本放射線技術学会誌（和文誌）へ**半年以内**：11月中旬まで
もしくは、RPT誌（英文誌）へ**1年以内**：翌年の5月中旬まで
 - 論文受理：上記の2雑誌（日本放射線技術学会誌またはRPT誌）への投稿を推奨します（他雑誌でも可）。雑誌への掲載後、論文が受理されたことをJSRT東京支部支部HPで紹介します。
- ※採択から成果報告までの期間が短いため、
応募時点で完成度の高い研究である必要があります。
- この条件を満たせば
副賞10万円を授与
- ※副賞は、「研究成果を論文にする」という最初の難関を超えるための発奮材料として企画しています。
論文の採否に関わらず、初回投稿を完了すれば授与します。
ただし、初回投稿の内容は、査読者に敬意を払い、学術論文としてふさわしい内容としてください。

Research Award研究支援の事例



- 公募研究セッションでの質疑応答

学術委員会が選出した座長を中心に論文化にむけた充実したディスカッションが展開されるため、論文執筆の際に役立ちます。



- 学術委員会のネットワークの利用

支部役員のメーリングリストや、班員が所属している学会のメールマガジンを活用した研究支援が可能です。例えば、アンケート調査の回答数増加などが期待できます。

- 表彰楯の授与

成果報告の発表が終了した時点で、研究題目・研究者名が刻字された表彰楯を授与します。論文化に向けて心が折れそうな時に眺めましょう！きっと頑張れるはず！

- 過去の受賞事例

<https://jsrt.tokyo/grant-01-2/application-for-participation-goudou-2-2.html>

- 詳しくは下記にアクセス

<https://jsrt.tokyo/wp/wp-content/uploads/2024/04/2024-Academic-support-business-regulations.pdf>

